

(様式-2)

日本原子力研究開発機構  
幌延深地層研究センター

## お 知 ら せ 票

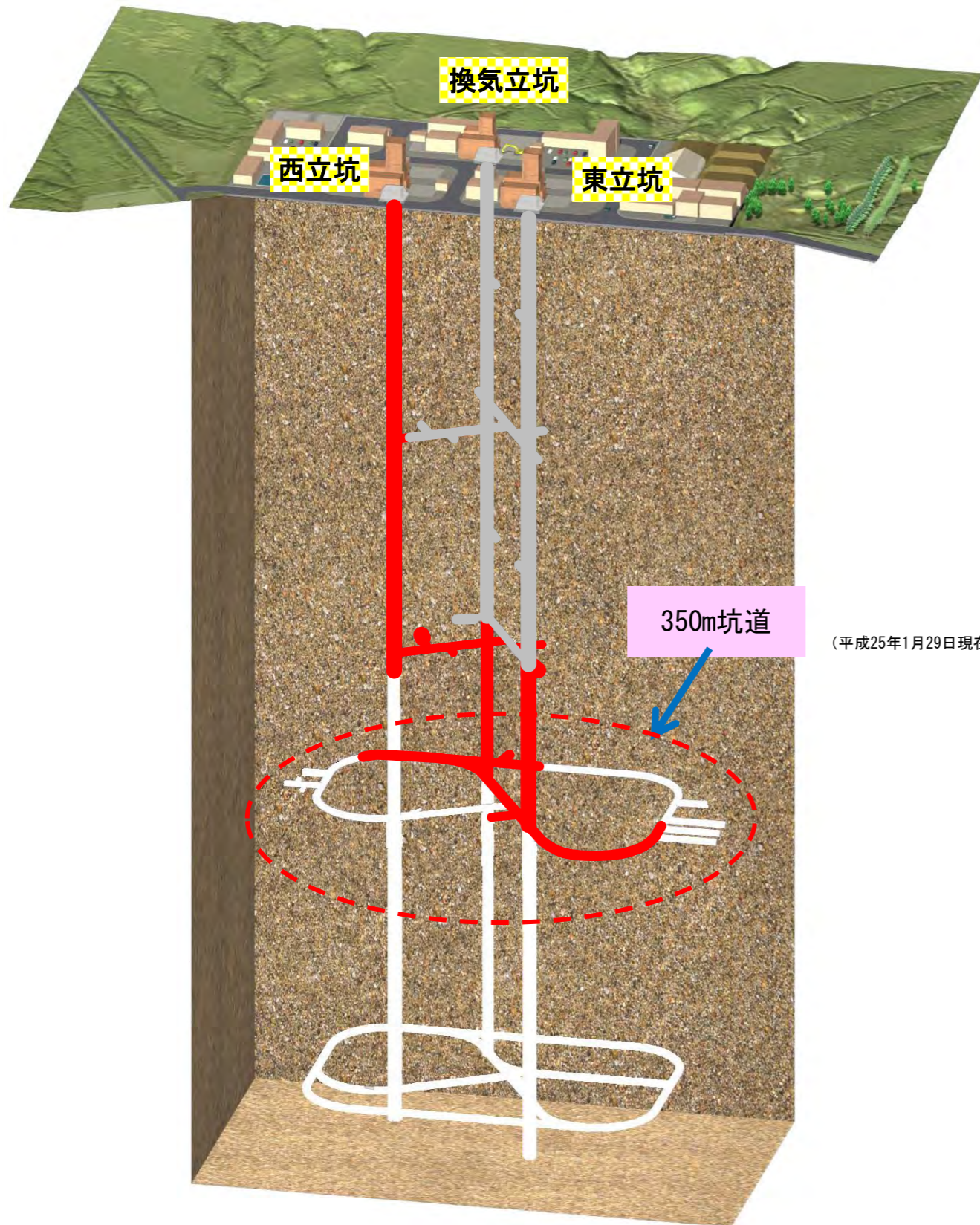
1. 件 名	: メタンガス濃度の上昇による電源遮断について
2. 発生日時	: 平成 25 年 2 月 6 日 (水) 20 時 45 分頃
3. 発生場所	: 深度 350m 調査坑道の試験坑道 1  [施設名]
4. 概 要	<p>平成 25 年 2 月 6 日 (水) 20 時 45 分頃、深度 350m 調査坑道の試験坑道 1 において、水理・地球化学観測用のボーリング掘削中、湧水の増大(120 l/分)に伴いメタンガス濃度が 1.5%を超え、電源遮断となった。 このため、350m 調査坑道で作業中の作業員を全員退避させた。(21 時 00 分全員避難完了) 固定センサーでのメタンガス濃度が 1%程度まで下がったので、21 時 20 分に坑内状況確認のため、作業員 2 名が携帯型センサーを持参し、坑内状況確認を実施した。 21 時 45 分に排気風管を設置し、試験坑道 1 から排気した。メタンガス濃度は 0.5%となったので、22 時 00 分に電源復旧した。</p> <p>今後の対応として、湧水の状況の推移を監視し、水理・地球化学観測用のボーリング孔の湧水抑制対策を行いガスの噴出を抑える予定である。</p> <p>添付図面：1. 幌延深地層研究センター位置図 2. 350m 調査坑道平面図 (ガス噴出場所)</p>
発信日時	: 平成 25 年 2 月 7 日 (木) 11 時 33 分
発信者	: 氏名 片田 偉奈雄 役職：地域交流課長代理
連絡先	: 直通電話番号：01632-5-2022 FAX：01632-5-2245



幌延深地層研究センター一位置図

# 地下施設工事進捗状況

地下施設 鳥瞰図

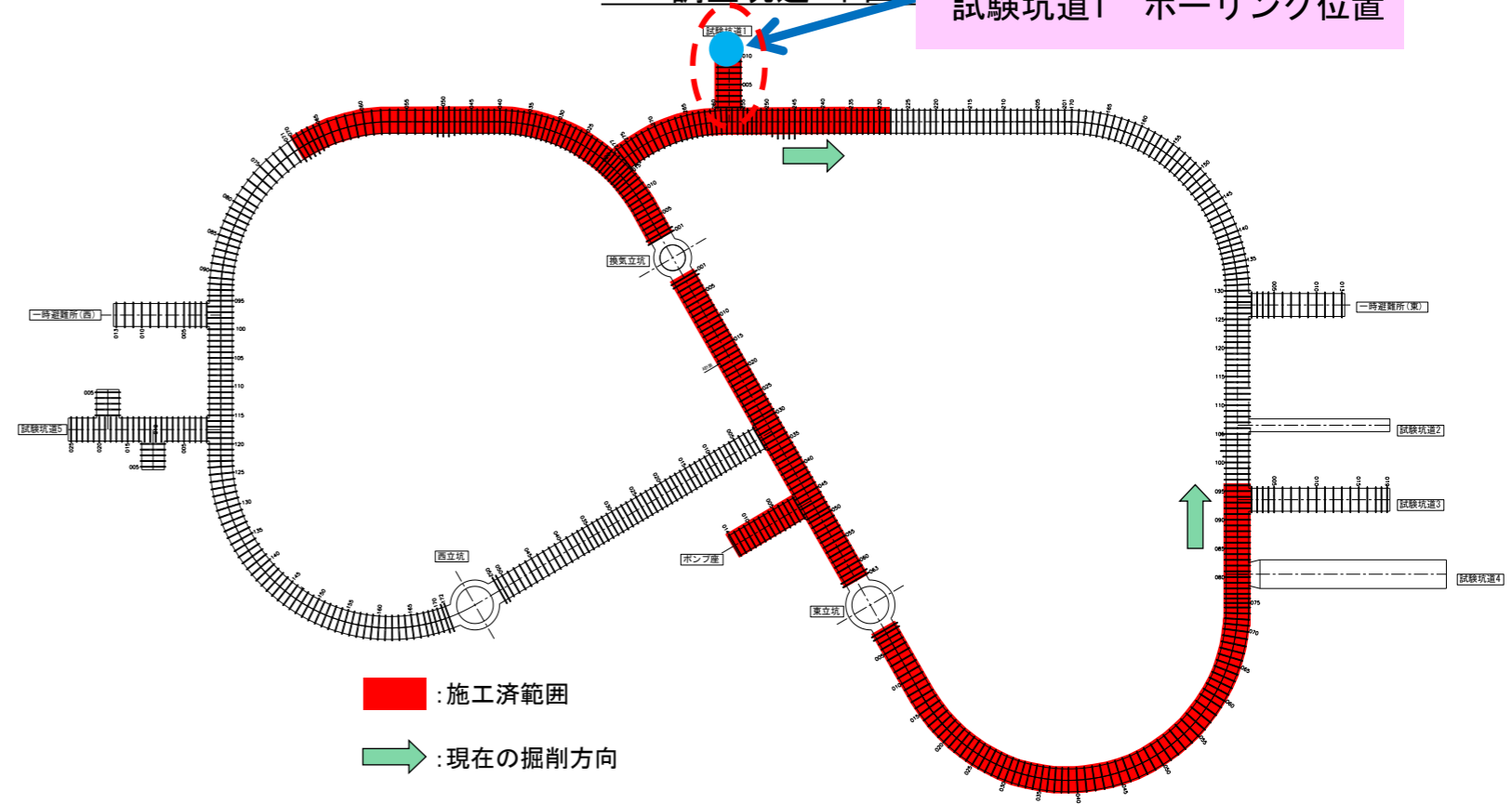


- : 既施工済範囲 (~第I期2次)
- : 施工済範囲 (第II期)

(平成25年1月29日現在)

350m調査坑道 平面図

試験坑道1 ボーリング位置



- : 施工済範囲
- : 現在の掘削方向

350m調査坑道平面図(ガス噴出場所)